

# ほたて児童合唱団 第26回定期演奏会

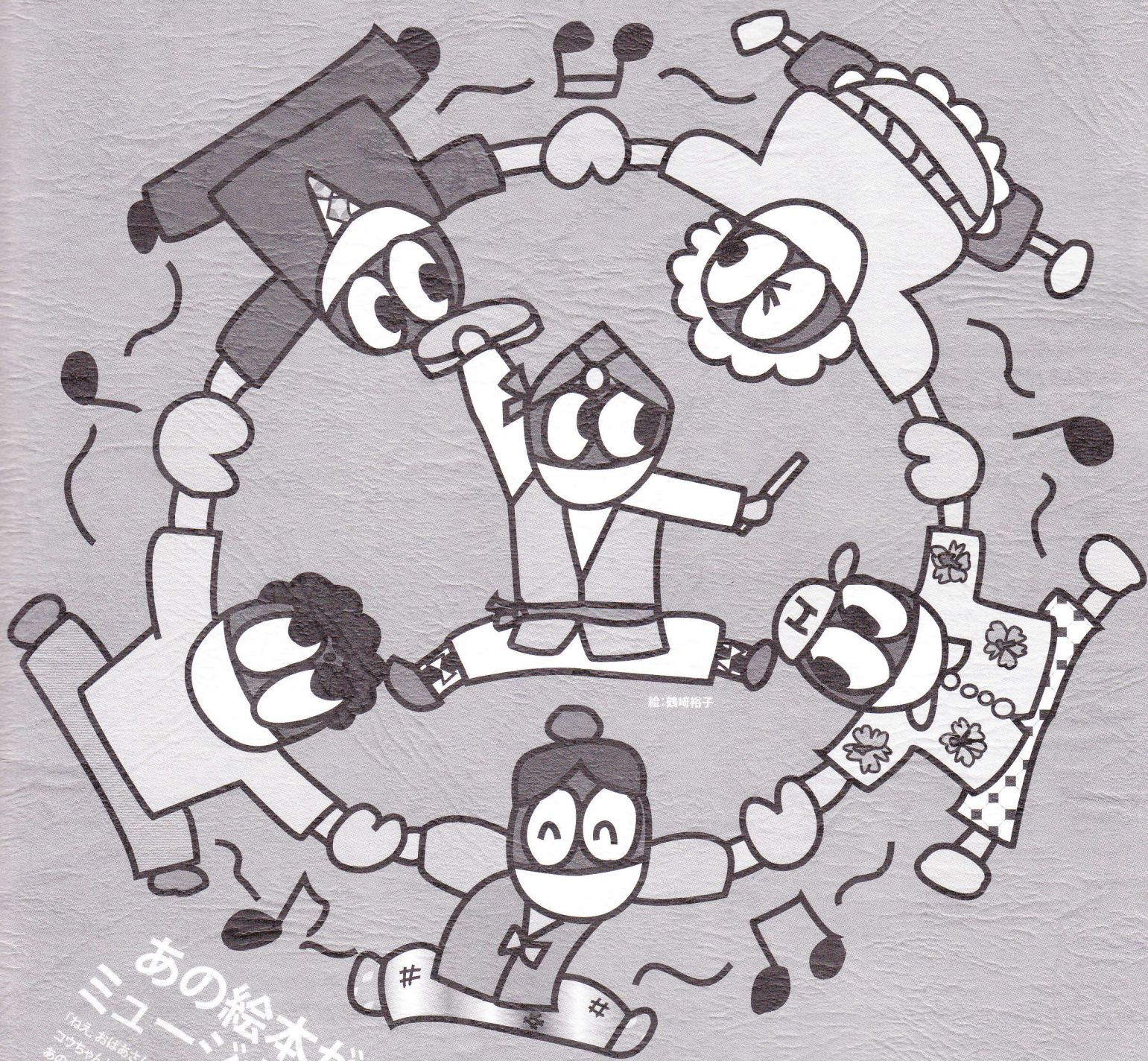
2010年2月14日(日) 午後2時開演 佐世保市コミュニティーセンターホール

午後1:30開場・午後4:00終演 佐世保市光月町6-17

主催・ほたて児童合唱団 後援・佐世保市教育委員会  
連絡先 江田(Phone 0956-24-8886) 照明・音響 EARTH STATION

URL <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hotate-s/> (ほたて児童合唱団で検索できます)

共演 弓削田健介 馬渡静一郎 富永和満



あの絵本が  
ミュージカルに  
「ねえ、おはあさん、ほくのご先祖さまって何人いるの?」  
コブちゃん、指をおって教えてみることにしました。  
あのベストセラー絵本「いのちのまつり」の作家 草場一壽  
さんから依頼を受け、ほたてがミュージカルに!!

## 弓削田健介

ゆげたけんすけ  
の合唱曲を集めて

# 合唱ミュージカル いのちのまつり

原作：草場一壽  
作曲：弓削田健介

初演

# いのち

「いのちのまつり」作者 草場一壽



「いのちはなぜ大切ですか」

この問いに応えられる大人や教師は今のくらいいるでしょうか。そして、あなたならどう答えますか。私は、自分なりの答えを一冊の絵本に込めました。それが『いのちのまつり～ヌチヌグスージ～』です。この絵本を出すに至った経緯には、いのちに対する葛藤と、その先で出会った感動がありました。

平成14年、手術の失敗が原因で亡くなってしまった父と、同時期に佐賀・佐世保で起きた、少年たちの痛ましい事件の数々―不条理な死、簡単に消されるいのち。

一のちとは一体何だろう―と思ひ悩む私に光が射したのは、絵本の舞台にもなっている沖縄を訪れたときです。大きなお墓の前にテントが立ち並び、地元の人々が寄り集まり、飲みや歌えやのどんちゃん騒ぎが繰り広げられていました。それは「清明祭」という先祖供養のお祭りでした。「祭り」とはいえ、お墓の前でのどんちゃん騒ぎに驚いた私は、一体なぜこんなににぎやかなのか、一人のおばあさんに尋ねました。おばあさんは言います。

「生きている私たちの中に、ご先祖様がいます。私たちが元気で幸せで、光り輝いていることが最高の先祖供養になるんです。だから、今これだけ元気に生きていますよと、お墓の前でお伝えしているんですよ」

それは、目の前がパーツと開けていくような感覚でした。そのとき初めて、父の死の意味を素直に理解できました。父の体はなくなったけれども、いのちは私の中に生きている。自分の中で生きている父の分まで一生懸命生きようと思えるようになりました。

この感動を、自分の周囲に、社会に、どうにかして伝えたい。当時、絵画講師をしていた保育園の園児たちの力を借り、『いのちのまつり～ヌチヌグスージ～』の原型を創り上げました。その後、自費出版を経て、ついには道徳の副読本に掲載されるようになり、この絵本に込めたものが、現代社会に必要とされていることを確信しました。

昨年からは、もっとたくさんの方々に伝えたいと思い、この絵本に「音楽・読み語り」といういのちを吹き込んでくれた、弓削田健介さん・副田ひろみ



さんと一緒に「いのちのまつり講演隊」を結成し、全国各地でトークライブを開いております。音楽あり、語りあり、笑いあり、涙あり…何でもありの内容で、これまで仙台から長崎まで数十ヶ所を巡りました。舞台を通すことで、感動はより一層広がるのだという実感…そこで思い立ったのが、絵本のミュージカル化です。

昨年4月、弓削田さんを介して土肥先生とお会いしました。温和かつ厳格なお人柄、内に秘めた合唱への熱意にやられ、その場で(無理やり)合唱ミュージカルとしての実演をお願い致しました。とはいえ、何せ初めての試み…脚本の直し・音楽制作にかなりの時間を費やしてしまいました。土肥先生をはじめ、団員・関係者の皆さまに多大なご心労をおかけしたにも関わらず、このように実現していただけたことは、本当に奇跡だと思っております。

謝意は尽きませんが、ほたて児童合唱団にミュージカル『いのちのまつり』初演を飾っていただけることを、誇りに思います。

一感動の波紋が、ほたてから全国へ広がっていきますように―

2010年1月吉日 草場一壽 拝

## 再会

作曲 弓削田健介



こんにちは。はじめまして。弓削田健介です。

去年お会いしたみなさんとは二回目ですね。お久しぶりです。

ご来場ありがとうございます。

去年の2月に定期演奏会でご一緒させていただいて3か月の月日が経った、5月。

土肥先生と絵本「いのちのまつり」の作者の草場さん、今回ミュージカルの脚本を担当していただいた河室さんと佐世保バーガーを食べました。

去年の演奏会が終わった夜に、「来年も一緒に・・」と土肥先生に声をかけていただきラーメンを食べながらお話しした、「あの話」をするためでした。

絵本「いのちのまつり」合唱ミュージカル化の話。

学生時代は演劇を専攻されていたという草場さんはもともと、「いのちのまつり」が絵本を飛び出してミュージカルや舞台になるイメージがあったそうで…絵本を書きかけになった出来事が佐世保で起こった、ということもあり、ほたて児童合唱団さんに協力していただくこととなったのです。

しかし「自分たちのスタイルは、仕上げるのに時間がかかるから」と悩まれる土肥先生。

それでも、僕は「ぜひやりましょう!」と伝えて、夏休みまでに脚本、曲を仕上げることを条件に「ミュージカルを創る」ことになりました。

しかし3か月がたったある日。「もう、タイムリミットです。」土肥先生からのメールでした。

僕は締切を、守れなかったのです。

自分のせいで、大幅に遅れてしまった、練習のスタート。子どもたち、先生に、多大なご迷惑をかけるしまいました。本当にごめんなさいごめんなさい…

1月。先生からCDが届きました。

「つたない演奏ですが、8月末から、半年がかりの精一杯の録音です」と書き添えられていました。

この原稿の締切まで、何度も何度も聴きました。限られた時間を積み重ねた、先生と子どもたちの顔が浮かぶ、録音でした。

美しい歌声に、涙がでました。

ピアノの伴奏とコーラスだけでお渡ししていた音楽に、新しく編曲もしてくださっていてびっくりしました。  
すごい！  
さすが、土肥先生とほたて児童合唱団！  
毎年足を運ばれているお客さまは、もうわかっていると思います。  
初めて来られた方も、はじめの一声で魅了されると思います。

ほたて児童合唱団の魅力。  
土肥先生とこどもたちの絆から生まれる音楽の、凄み。そして「ほたてワールド」をサポートされている音響、照明スタッフのみなさんのチームワーク。  
すべてが一つになって繰り上げられる音楽の世界に、締切を守れなかった作曲家は当日、小さくなりながらも心躍らせながらほたて児童合唱団のファンとして、みなさんと一緒に客席で、聴き入っていると思います。

最後になりましたが、今回かかわっていただいた全ての方々とご来場のお客様に…  
心から、ありがとうございます。

2010年1月29日 弓削田健介

# 遊び心

脚本・作詞 河室賢明



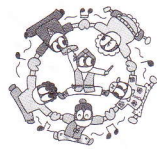
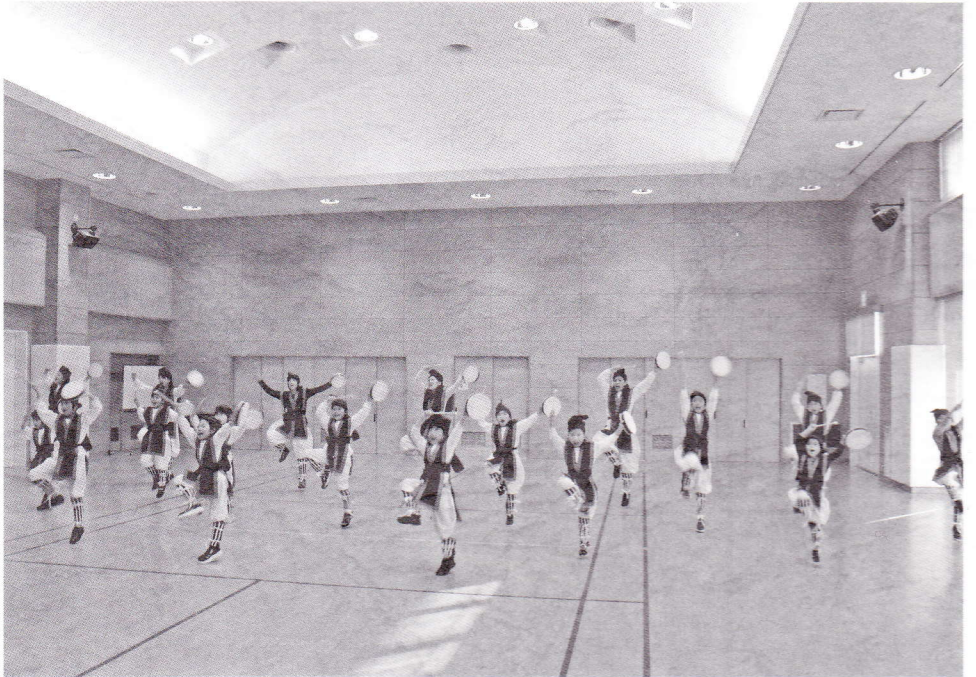
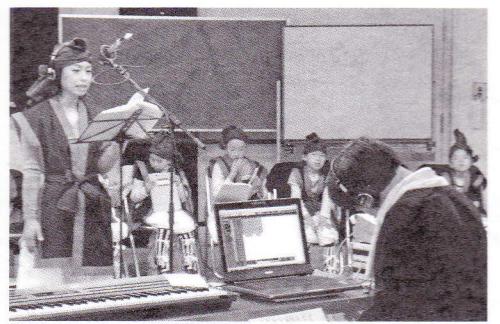
今回、数曲の歌詞と脚本に携わらせていただいた、河室と申します。学生時代、弓削田健介くんに作曲していただいた「ってさ(ミルクレープの歌)」や「わたあめ」が、こうして合唱曲として(しかもほたての定期演奏会で!)歌われることになるうとは、思いもしませんでした。このような機会を与えていただき、ありがとうございます。

私の歌詞の原点は、「遊び心」です。ここで言う「遊び」には、「いたずら」「子ども」「技巧(リリック)」などの意味も込められています。弓削田くんの歌詞には、彼の素直さがそのまま表れていますが、私の歌詞には、どこか「遊び」の部分があります(本当は、素直な詩を書きたいのですが…)。その辺りも、演奏を聴きながら楽しんでいただければと思います。

最後になりましたが、今日こうして私たちの作品を介して、みなさんとつながれることに心から感謝いたします。

2010年1月26日 河室賢明

INOCHI NO MATSURI



## 繋がり… その不思議と運命 「合唱」好きと嫌い

前回のプログラムにも書いたが、3年前の2007年4月7日(土)家族サービスで「佐賀県立宇宙科学館」(その日だけの弓削田健介ロビーコンサート)に行かなければ、弓削田さんとの出会いもなかったし、今回の「いのちのまつり」をほたてが演奏することもなかった。「奇跡的な出遭い」である。

変な話だが、私は「合唱が嫌い」である。合唱団の指導者が「合唱嫌い」?それは「ある種の合唱」=みんなが寄って歌い上げることが嫌いなのだ。言葉は悪いが、声を合わせるだけの「自己満足な?発散的な?合唱」が嫌い。むしろ「コーラス」と言った方が好き。ジャズコーラスはカッコイイ(超難しいけれど)、宗教曲も好き、現代合唱も、モーツァルトのレクイエム(合唱入り)もグッとくる。音楽が好きなので、「合唱」は一つの表現方法=むしろ、弓削田さんのようなミュージシャンに憧れる。だから、いろいろなジャンルの音楽に「合唱」という形で、しかも「子どもの声」でクロスオーバーしてきた。

逆に、弓削田さんは、「合唱が大好き」…昨年の定演での初共演の時も、私と意見がぶつかった。

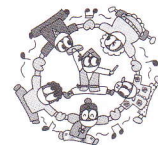
私は、弓削田さんのソロが大好き(たぶん、今日お越しのお客さまも弓削田さんの声に、音楽に魅了されるはず)…で、1部の「HOTATE meets 弓削田健介」のステージでは、弓削田さんのソロとほたての合唱を合わせることを提案したが、弓削田さんは「私は少し控えたい。自分の曲をほたての合唱で聴

かせたい…」と。

弓削田さんの合唱好き=だからこそ、今年の2回目の競演が実現した。

今回は、私も弓削田さんの希望に沿って、「弓削田健介の合唱曲を集めて」と題し、たつぷりと合唱曲を楽しんでいただく。合唱曲も、これまで、ほたて26年の中で数百曲取り上げてきた。ユーミンから宗教曲、現代合唱曲まで様々な合唱曲をやったが、弓削田さんの合唱曲は「美しい」…定演の案内用のハガキに、メロディーはもちろん、そのハーモニーの美しさを何という文字で表そうか…浮かんだ言葉が「珠玉」(明鏡国語辞典より=しゆぎよく【珠玉】《名》①海から産する玉と、山から産する玉。真珠と寶石。②美しいもの、すぐれたものたとえ。特に、すぐれた詩文などをほめたたえていう。)…まさに「真珠」のハーモニーである。

「産みの苦しみ」は、相当のものであったことは、レコーディングで音を重ねていく度、美しいが故にわかる。=これだけの音楽を構築するための想像を絶する「苦しみ」があったことを。弓削田さんの挨拶文で「遅れ」を謝っておられるが、それは想定内であった。さぞ、苦しんでおられるのだろう。が、こちらも時間がかかる。「約束の夏」の終わりには焦って、弓削田さんに伝えたのだった。「タイムリミット」と。今思えば感謝のみであったのに。



宝塚も  
エイサー隊も  
いらない!

絵本作家の草場さん、作詞の河室さん、弓削田さん

と、昨年5月、佐世保駅前の喫茶店で「佐世保バーガー」を食べた。

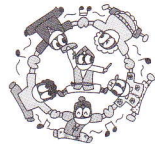
絵本「いのちのまつり」は、4年前、当時勤務していた鹿町町の「歌浦小学校」で読み語りをして下さっていた石田光洋さんが、子どもたちに、絵本中の一番の見せ場「いのちの系譜」を大きく開いて、子どもたちがその命の繋がりに感嘆の声を上げる。…そのインパクトで知っていた。が、その作者ご本人を目の前にしてお話しできるとは思っていませんでした。

この絵本が、子どもたちの悲しい事件をきっかけに、「命の大切さ」を、今それぞれの「命の奇跡」を説くために作られたこと。それを、佐世保の合唱団である私たちに託されること。身の引き締まる思いでそのミュージカルの依頼の話を聞いた。

最後に、草場さんが、「宝塚の振り付け師も知っているし、沖縄のエイサー隊も呼べる」と。

私は、後日、「宝塚もエイサー隊もいません。私たちほたての子どもだけでやらせてください。」とお願いした。弓削田さんからは、「練習を見に来ていいですか?」とのリクエストが、(土肥)「いえ、できるまで見に来ないでください。」=「鶴のおんがえし」の「決して見てはなりません」の地道な布織(レコーディング)作業が、振り付け演出が夏から今年の1月まで続いた。

そして、今回上演する全16曲のCDが完成。三方へお送りした。三方に、そのCDに込めた「ほたての思い」が通じた。左のページのように「温かいメッセージ」をいただいた。



## がんこ親父の「ラーメン屋」で

弓削田さんも、穏やかそうで「頑固」である。…ソソレ。私も同じく。

ほたての歌声は、26年前から変わっていないな。…と、ふと思う。うなぎ屋が、焼き鳥屋が、タレを何十年も注ぎ足して伝統の味を引き継いでいるように、ほたても、メンバーは替わってきても、歌声の「核」は「種」は変わっていないな、と思う。そして、

スタイルも?なぜなら、「一人ですべて」から。…もちろん、役員様や保護者にもたくさんの協力をいただいているのだが、指導の基本は「一人」だ。巨大ホテルの「フレンチ」も「中華」も「日本料理」も味わえるところもいいが、がんこ親父の「ラーメン屋」が好きだ。こわいし、気も違うが、他にない味。ほたても、そんな店でありたいと、開店26年目。皆様のお陰である。

3年前、奇跡的に出逢えた弓削田健介さん、そして、紹介=繋がりをいただいた草場一壽さん、河室賢明さんに今回、合唱ミュージカル「いのちのまつり」を初演させていただく機会をいただき、厚く御礼申し上げる次第である。

全伴奏は、ほたてに20年以上繋がっていただいている馬渡静一郎様(日宇郵便局勤務)に、素敵にアレンジしていただいた伴奏をステージでも使わせていただく。それに、団員の叩くドラムスの



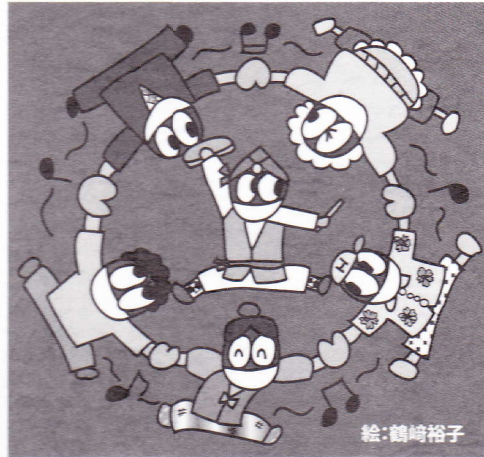
音をシンクロさせての演奏である。

また、26年間、ステージをゴージャスに照明・音響・ステージングしていただく百合永貴様率いられるEARTH STATIONの皆様。保護者・役員様の力強い支え。富永様(ミツ木板金)製作の鉄骨組台のご提供、そして、そのご子息・OB「富永和満」君の共演。私が未知の「エイサー」について、たくさんのアドバイスをいただいた春日部市・千葉和枝様。温かくサポートしてポスター・プログラム作成していただく港印刷様。そして、わざわざお越しいただきましたお客様、ご支援いただく皆様。以上の皆様のお陰と、そして、皆々様との巡り巡るご縁と繋がりに、深く感謝と御礼申し上げたい。

「秘伝のタレ」に、20年も浸かってきている団員もいる。結婚し、生まれた命にお乳を上げながら練習に通ってくれた者も、…命も歴史も繋がっていく。

また一歩ずつ、子どもたちと、このような繋がりを大切に歩んでいきたい。

ほたて児童合唱団 指導者 土肥章一



絵:鶴崎裕子

## Member

ほたて児童合唱団 メンバー

### ソプラノ I

コーラス歴

鶴崎裕子 (やまづみ幼稚園 保育士) 20年  
福田航平 (木風小学校 6年) 5年  
岩元涼華 (山手小学校 4年) 2年  
橋本優華 (山手小学校 4年) 2年  
福田涼介 (木風小学校 2年) 5年

### ソプラノ II

吉田奈央 (白南風小学校 2年) 5年  
田中愛花 (小佐世保小学校 2年) 5年  
田中空我 (小佐世保小学校 1年) 4年

### ソプラノ III

岩戸結子 (日野中学校 2年) 8年  
松尾実紀 (中里中学校 2年) 7年

### ソプラノ IV

小崎裕美子 (平戸市 民宿「小崎」女将) 18年 (休団中)  
江田かおり 12年 (休団中)

### メゾ I

東クミ (医療事務) 19年  
植田もとか (小佐世保小学校 2年) 5年

### メゾ II

川尻まどか (長崎大学 4年) 14年  
堤穂乃華 (白南風小学校 2年) 5年

### メゾ III

森山順子 (大宮保育園 保育士) 15年  
志久ゆかり 15年

林笑花 (白南風小学校 2年) 5年

### メゾ IV

志久はるな (薬局 勤務) 15年 (休団中)  
宮崎瑤子 (清水小 6年) 5年  
今里柚葉 (木風小学校 2年) 4年 (休団中)

### アルト I

土肥晃大 (白南風小 6年) 9年

### アルト II

岩戸莉子 (聖和女子高 2年) 11年  
土肥章大 (山澄中学校 2年) 11年

### アルト III

宮原亜里沙 (董ヶ丘幼稚園 保育士) 20年  
徳永有李 (バスガイド) 13年

### アルト IV

江田はるか (高校 2年) 9年 (休団中)  
竹成遙花 (白南風小学校 2年) 5年

山口美由 (小佐世保小学校 2年) 4年  
竹成小優姫 (やまづみ幼稚園 年長) 5年



「子どもの可能性」を信じて…

今日の「音楽」が「魂」が、いつの日か「あたたかく」映し出されますように。

# Love

# Program

プログラム

## 弓削田健介の合唱曲を集めて



曲目 全作編曲:弓削田健介

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 01. やさしい歌 作詞:弓削田健介       | 05. 越えてゆけ 作詞:弓削田健介 |
| 02. 君へ 作詞:弓削田健介          | 06. 弓削田健介 ON STAGE |
| 03. わたあめ 作詞:河室賢明         | 07. この街で 作詞:弓削田健介  |
| 04. っさ(ミルクレープの唄) 作詞:河室賢明 |                    |

演奏

1

指揮

土肥章一

伴奏プログラミング

馬渡静一郎

ドラムス

川尻まどか 鶴崎裕子

福田航平

動画編集

土肥章一

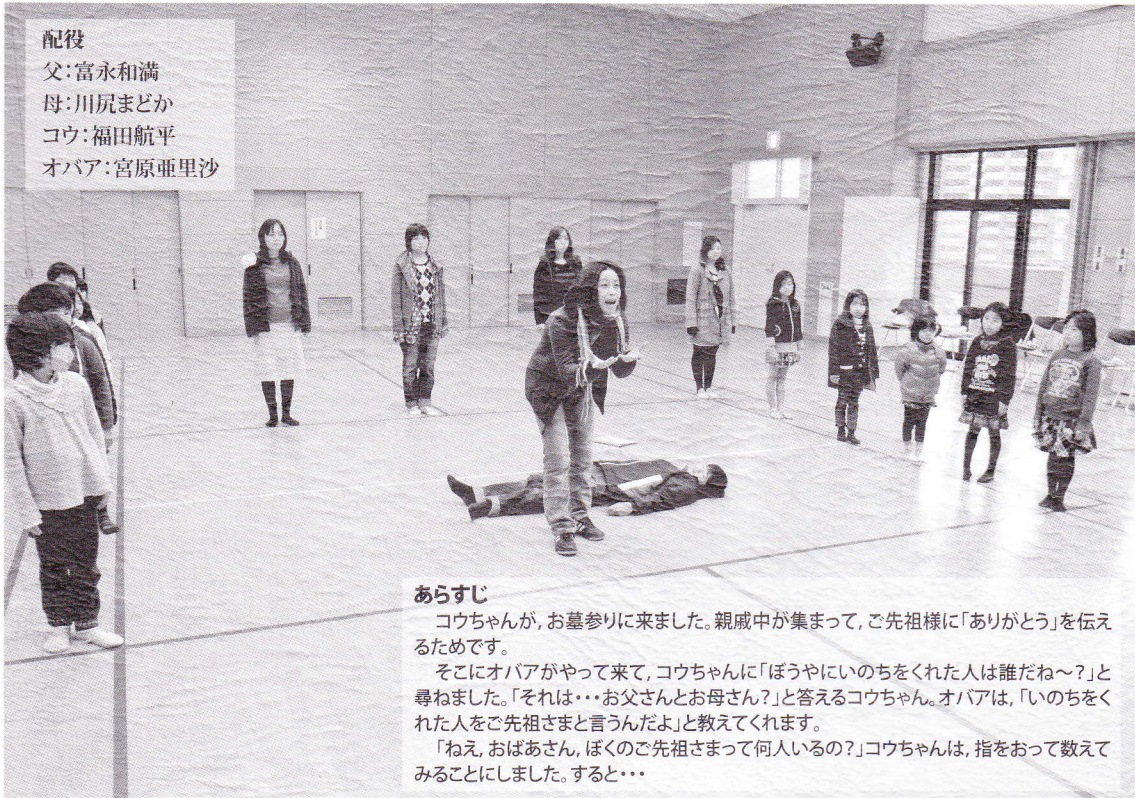


06. 弓削田健介 ON STAGE  
キーボード&ボーカル 弓削田健介

合唱ミュージカル

## いのちのまつり 初演

原作:草場一壽 作詞:草場一壽, 弓削田健介, 河室賢明 作曲:弓削田健介



配役

父:富永和満  
母:川尻まどか  
コウ:福田航平  
オバア:宮原亜里沙

あらすじ

コウちゃんが、お墓参りに来ました。親戚中が集まって、ご先祖様に「ありがとう」を伝えるためです。

そこにオバアがやって来て、コウちゃんに「ぼうやにいのちをくれた人は誰だね?」と尋ねました。「それは・・・お父さんとお母さん?」と答えるコウちゃん。オバアは、「いのちをくれた人をご先祖さまと言うんだよ」と教えてくれます。

「ねえ、おばあさん、ぼくのご先祖さまって何人いるの?」コウちゃんは、指をおって数えてみることにしました。すると・・・

演奏

2

指揮

土肥章一

伴奏プログラミング

馬渡静一郎



曲目

01. 不思議がいっぱい
02. 楽しい墓参り
03. 不思議がいっぱい「こう・おばあ」
04. 思い出
05. つながってる～ミュージカル版
06. やさしい歌
07. いのちのまつり～アカペラ
08. いのちのまつり～エイサー
09. いのちのまつり～弥栄 (いやさか)

いや - さか【▼弥栄】【名】  
ますます栄えること。「御両家の一を祈る」

照明・音響

EARTH STATION

# ■ほたて児童合唱団のあゆみ

- 1984年 5月 ほたて児童合唱団発足
- 7月28日 生月町・山田少年少女合唱団との合同練習(生月にて)
- 8月8日 御船小学校合唱団との合同練習(佐世保市民会館にて)
- 8月10日 NHK全国学校音楽コンクール長崎県大会 出場【優良賞(県三位)受賞】(諫早文化会館にて)
- 1985年 3月27日 ほたて児童合唱団「はじめての・ていき・えんそうかい」(コミュニティセンターホールにて)
  - I部 「ニューミュージックを集めて」(賛助出演・女声合唱団「ほたて」)
  - II部 合唱ミュージカル「合唱団物語」(曲・青井陽治 曲・小六禮次郎)
  - III部 児童合唱・打楽器・ピアノのための組曲「生まれてから」(詩・木島 始 曲・新実徳英)
- 8月1日 NHK全国学校音楽コンクール長崎県大会 出場【最優秀賞(県一位)受賞】(長崎市民会館にて)
- 1986年 3月16日 ほたて児童合唱団「はじめての・ていき・えんそうかい」(佐世保市民会館にて)
  - I部 「聖と高校コーラス部とともに」
  - II部 少年少女のための合唱組曲「くいん坊の世界旅行」(詩・中村千栄子 曲・越部信義)
  - III部 三群の児童合唱・打楽器・コントラバス・ピアノによる「ほく」(詩・谷川俊太郎 曲・新実徳英) (賛助出演・聖と高校合唱団)
- 8月1日 NHK全国学校音楽コンクール長崎県大会 出場【銀賞(県二位)受賞】(長崎市民会館にて)
- 9月21日 東京混声合唱団 長崎県芸術鑑賞公演 鑑賞(大瀬戸町民体育館)
- 1987年 3月7日 ほたて児童合唱団「さんかいの・ていき・えんそうかい」(コミュニティセンターホールにて)
  - I部 「コンクールの思い出」(楽しい男声合唱)(賛助出演・男声合唱団「西海メンネルコール」)
  - II部 混声合唱組曲「日曜日」(詩・蓬萊泰三 曲・南 安雄)
  - (女声部・ほたて児童合唱団 + 男声部・西海メンネルコール)
  - III部 合唱ミュージカル「けんちゃんとおぼけ」(詩・伊藤アキラ 曲・越部信義)
- 7月31日 NHK全国学校音楽コンクール長崎県大会 出場【金賞(県一位)受賞】(長崎市民会館にて)
- 1988年 2月28日 ほたて児童合唱団「第4回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (シンセサイザー・オーケストラとの試み)
  - I部 『西海讃歌』(曲・團 伊玖璃)
  - II部 『響紋』(詩・宗 左近 曲・三善 晃)
  - III部 合唱ミュージカル「ゲッタウェイ」(詩・藤 公之介 曲・小六禮次郎)
- 7月28日 NHK全国学校音楽コンクール長崎県大会 出場【金賞(県一位)受賞】(長崎市民会館にて)
- 1989年 2月26日 ほたて児童合唱団「第5回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (キングススクールの友達とともに)
  - I部 『サウンド・オブ・ミュージック』(賛助出演・キングススクール有志)
  - (曲・リチャード・ロジャース 編曲・青島広志)
  - II部 合唱ミュージカル「どろんこ」(詩・伊藤アキラ 曲・越部信義)
- 8月11日 NHK全国学校音楽コンクール長崎県大会 出場【金賞(県一位)受賞】(長崎市民会館にて)
- 1990年 2月25日 ほたて児童合唱団「第6回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (やすらぎのそよみなさと)
  - I部 「唱歌の四季」(編曲・三善 晃)
  - II部 メゾ・ソプラノ独唱、語り手、女声合唱、室内アンサンブルのための『アマノハ観音』(賛助出演・やすらぎ〜) (詩・藤原千鶴子 曲・藤原義久)
  - III部 少年少女のための合唱組曲「くいん坊の世界旅行」(詩・中村千栄子 曲・越部信義)
- 8月5日〜10日 中国友好都市青少年交流事業(フレンドシップ90)演奏旅行(上海〜福建省・廈門(アモイ)市)(廈門(アモイ)市劇院にて公演ならびに交流)
- 1991年 2月10日 ほたて児童合唱団「第7回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
  - I部 独唱・児童合唱・邦楽器のためのお伽草子「タロウ」(詩・蓬萊泰三 曲・三木 稔)
  - II部 女声合唱のための「ユミン・ベストアルバム」(詩・曲・松任谷(荒井)由実 編曲・中島良史)
- 7月21日 第46回九州合唱コンクール長崎県予選 出場【一般の部・金賞受賞】(佐世保市民会館にて)
- 9月8日 第46回九州合唱コンクール 出場(富崎市民会館にて)
- 1992年 2月23日 ほたて児童合唱団「第8回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
  - I部 「唱歌の四季」(編曲・三善 晃)
  - II部 児童合唱とピアノのための組曲「のら犬ドジ」(詩・蓬萊泰三 曲・三善 晃)
  - III部 合唱ミュージカル「ゲッタウェイ」(詩・藤 公之介 曲・小六禮次郎)
- 7月19日 第47回九州合唱コンクール長崎県予選 出場【一般の部・金賞受賞】(長崎市公会堂にて)
- 9月13日 第47回九州合唱コンクール 出場(長崎市公会堂にて)
- 12月6日 クリスマスフェスタ in SASEBO 出演(佐世保公園特設ステージにて)
- 1993年 2月28日 ほたて児童合唱団「第9回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
  - I部 三群の児童合唱、打楽器、コントラバス、ピアノによる「ほく」(詩・谷川俊太郎 曲・新実徳英) (賛助出演・みなと保育園、佐世保吹奏楽団「パーカッションパート」, 辻 宏, 岩村真弓)
  - II部 合唱ミュージカル「ピリーの木」(詩・藤 公之介・二本光子 曲・小六禮次郎)
- 7月18日 第48回九州合唱コンクール長崎県予選 出場【一般の部・銀賞受賞】(佐世保市民会館にて)
- 1994年 2月27日 ほたて児童合唱団「第10回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
  - I部 「ほたて10年間の思い出の曲から」
  - II部 『響紋』(詩・宗 左近 曲・三善 晃) (賛助出演・佐世保吹奏楽団「パーカッションパート」)
  - III部 合唱ミュージカル「時間列車」(ほたて児童合唱団10周年記念 委嘱作品) (詩・新谷智恵子 曲・杉田志保子) (初演)
- 7月17日 第49回九州合唱コンクール 長崎県予選 出場(長崎市公会堂にて)
- 一般の部 金賞受賞・全日本合唱連盟 理事長賞 受賞
- 9月12日 第49回九州合唱コンクール 出場【一般の部・銀賞受賞】(佐賀市文化会館にて)
- 1995年 1月15日 ほたて児童合唱団「第11回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
  - I部 少年少女のための「マザー・グースの三つの歌」(日英版)(曲・三善 晃)
  - II部 児童合唱のためのコンポジション「第12番」はるかな あしたから(詩・曲・間宮芳生)
  - III部 合唱ミュージカル「合唱団物語」(曲・青井陽治 曲・小六禮次郎)
- 3月18日 平成6年度 佐世保市教育委員会「文化及びスポーツ表彰式」文化功労賞 受賞
- 7月16日 第50回九州合唱コンクール 長崎県予選 出場【一般の部・金賞受賞】(佐世保市民会館にて)
- 9月10日 第50回九州合唱コンクール 出場(福岡サンパレス・大ホールにて)一般の部・銀賞受賞
- 1996年 2月11日 ほたて児童合唱団「第12回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (キングススクール・ダービースクールの友達とともに)
  - I部 『サウンド・オブ・ミュージック』(曲・リチャード・ロジャース 編曲・青島広志) (賛助出演・キングススクール・ダービースクール 有志)
  - II部 『ユミンの曲を集めて』(詩・曲・松任谷由実)
- 7月21日 第51回九州合唱コンクール 長崎県予選 出場【一般の部・金賞受賞】(長崎市公会堂にて)
- 8月19日 ハウス・デンボス「子どもフォーラム」出演(ハウスデンボス コレヒト・ホールにて)
- 9月8日 第51回九州合唱コンクール 出場(鹿児島県文化センターにて)一般の部・銅賞受賞
- 1997年 2月9日 ほたて児童合唱団「第13回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
  - I部 「スタート・マーテル」(曲・ベルゴレージ)
  - II-1部 合唱ミュージカル「くいんぼうララバイ」(詩・藤 公之介 曲・小六禮次郎)
  - II-2部 合唱ミュージカル「時間列車」(詩・新谷智恵子 曲・杉田志保子)
- 7月20日 第52回九州合唱コンクール 長崎県予選 出場【一般の部・金賞受賞】(佐世保市民会館にて)
- 9月14日 第52回九州合唱コンクール 出場【一般の部・銀賞受賞】(大分文化会館にて)
- 1998年 2月15日 ほたて児童合唱団「第14回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
  - I部 児童合唱と太鼓のための「ふじさん は ふじさん」(詩・曲・三善 晃)
  - II部 合唱ミュージカル「星空の紙ヒコキ」(詩・藤 公之介 曲・小六禮次郎)
- 7月19日 第53回九州合唱コンクール 長崎県予選 出場(長崎市民会館にて)
- 一般の部 金賞受賞・全日本合唱連盟 理事長賞 受賞
- 9月13日 第53回九州合唱コンクール 出場【一般の部・銀賞受賞】(熊本県立劇場コンサートホールにて)
- 1999年 2月21日 ほたて児童合唱団「第15回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (共演・小松千津・出端徳昭・宮崎健二・春日ジュニアコーラス)
  - I部 児童合唱・語り(バス)・ピアノのための「狐のうた」(詩・会田綱雄 曲・三善 晃)
  - II部 合唱オペラ「ワルグ」(原作・倉本聰 詩・大森淳子 台本・曲・松尾祐寿)
- 7月18日 第54回九州合唱コンクール 長崎県大会 出場【一般の部・金賞受賞】(佐世保市民会館にて)
- 9月12日 第54回九州合唱コンクール 出場(長崎ブリックホールにて)一般の部・銀賞受賞
- 2000年 2月11日 ほたて児童合唱団「第16回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (共演・小松千津・富永和満)
  - I部 合唱組曲「いきつき」(詩・近藤権左衛門 曲・田村 徹)
  - II部 児童合唱とピアノのための「のら犬ドジ」(詩・蓬萊泰三 曲・三善 晃)
  - III部 合唱ミュージカル「ゲッタウェイ」(詩・藤 公之介 曲・小六禮次郎)

- 8月6日 全日本ジュニアコーラス・フェスティバル2000 出場(東京・府中の森芸術劇場にて)
  - あおぞら賞(優秀賞)受賞 (語り・杉原正城 アピアノ・小松千津)
  - 演奏曲 童声合唱「語り(バス)・ピアノのための「狐のうた」より「狐間」(詩・会田綱雄 曲・三善 晃)
- 2001年 2月18日 ほたて児童合唱団「第17回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (共演・杉原正城・小松千津)
  - I部 女声合唱によるさたまし作品集「北の国から」(作詞・作曲・さたまし 編曲・松下 耕)
  - II部 童声合唱・語り(バス)・ピアノのための「狐のうた」(詩・会田綱雄 曲・三善 晃)
  - III部 合唱ミュージカル「伝説の鳥Z」(詩・藤 公之介 曲・小六禮次郎)
- 7月15日 第56回九州合唱コンクール 長崎県大会 出場【一般の部・金賞受賞】(佐世保市民会館にて)
- 10月13日 第11回 全国童謡・唱歌サマッてさせば大会 出演(アルカスSASEBOにて)
- 11月1日 AESIEAP首脳会議 アトラクション 出演(ハウスデンボス ホテルヨーロッパにて)
- 2002年 2月17日 ほたて児童合唱団「第18回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (共演・小松千津(ピアノ)・牧山伊津枝(十七弦箏))
  - I部 「唱歌の四季」(編曲・三善 晃)
  - II部 女声合唱と十七弦箏のための「魂の風」(作曲・新実徳英)
  - III部 合唱ミュージカル「森の歌」(作詞・藤 公之介 作曲・小六禮次郎)
- 4月2日 中国・廈門(アモイ)交響楽団・演奏会 出演(アルカスSASEBOにて)
- 4月29日 「国府弘子スーパーグループ meets ほたて児童合唱団」出演(コミュニティセンターホールにて)
- 7月15日 第57回九州合唱コンクール 長崎県大会 出場【一般の部・金賞受賞】(長崎市民会館にて)
- 8月4日 日韓交流少年少女合唱サマーコンサート 出演(アルカスSASEBOにて)
- 9月8日 第57回九州合唱コンクール 出場(アルカスSASEBOにて)【一般の部・銀賞受賞】
- 2003年 2月2日 ほたて児童合唱団「第19回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
  - I部 Memory of「国府弘子スーパーグループ meets ほたて児童合唱団コンサート」
  - II部 合唱曲「三色草子」(詩・田植草子より 曲・間宮芳生)
  - III部 合唱ミュージカル「ピリーの木」(詞・藤 公之介・二本光子 曲・小六禮次郎)
- 7月13日 第58回九州合唱コンクール 長崎県大会 出場(佐世保市民会館にて)【一般の部・銀賞受賞】
- 9月7日 第58回九州合唱コンクール 出場(佐賀市文化会館にて)一般の部・銅賞受賞
- 2004年 2月8日 ほたて児童合唱団「第20回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (三善晃先生をお招きして)
 (共演・和太鼓・江口正博 井上成治 ピアノ・白石あかね 語り「狐のうた」出端徳昭 和太鼓提供・鹿町可「やまと太鼓」代表・山下真)
  - I部 児童合唱と太鼓のための「ふじさん は ふじさん」(詩・曲・三善 晃)
  - II部 三善作品と歩んだ20年と「ある」始まり(三善晃先生のお話を交えて)
  - III部 合唱ミュージカル「けんちゃんとおぼけ」(詞・伊藤アキラ 曲・越部信義)
- 7月18日 第59回九州合唱コンクール 長崎県大会 出場(長崎市民会館にて)【一般の部・銀賞受賞】
- 9月12日 第59回九州合唱コンクール 出場(熊本県立劇場コンサートホールにて)一般の部・銅賞受賞
- 2005年 2月6日 ほたて児童合唱団「第21回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (2台のピアノ版・三善晃作品を取り上げて)
 (共演・ピアノ・佐竹典子、白石あかね)
  - I部 「唱歌の四季」(2台のピアノ版)(編曲・三善 晃)
  - II部 児童合唱とピアノのための組曲「のら犬ドジ」(2台のピアノ版)(詩・蓬萊泰三 曲・三善 晃)
  - III部 合唱ミュージカル「どろんこ」(詩・伊藤アキラ 曲・越部信義)
- 7月17日 第60回九州合唱コンクール 長崎県大会 出場(佐世保市民会館にて)【一般の部・銀賞受賞】
- 9月11日 第60回九州合唱コンクール 出場(鹿児島県文化センターにて)一般の部・銅賞受賞
- 2006年 2月5日 ほたて児童合唱団「第22回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (共演・マリンバ、ヒッパホン・東崎友子)
  - I部 「ユミンの合唱曲を集めて」作詞・作曲 松任谷由実
  - II部 児童合唱と22音のサマッてさせば日記「ヤマガラ日記」(作詞・作曲・三善 晃)
  - III部 合唱ミュージカル「ゲッタウェイ」(詞・藤 公之介 曲・小六禮次郎)
- 3月26日 アルカス音楽祭 出演(アルカスSASEBOにて)
- 7月16日 第61回九州合唱コンクール 長崎県大会 出場(長崎市民会館にて)【一般の部・銀賞受賞】
- 2007年 2月11日 ほたて児童合唱団「第23回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (共演・プログラミング・馬渡静一部)
  - I部 「ほたてから200km離れて」〜国境の島から遠距離離れの軌跡
  - II部 合唱ミュージカル「星空の紙ヒコキ」(詩・藤 公之介 曲・小六禮次郎)
- 7月15日 第62回九州合唱コンクール 長崎県大会 出場(佐世保市民会館にて)【一般の部・金賞受賞】
- 2008年 2月10日 ほたて児童合唱団「第24回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (共演・プログラミング・馬渡静一部)
  - I部 「ほたてから200km離れてII」〜国境の島から 歌は海を越えて
  - II部 合唱ミュージカル「森の歌」(詩・藤 公之介 曲・小六禮次郎)
- 7月13日 第63回九州合唱コンクール 長崎県大会 出場(とぎつカナル・ホールにて)【一般の部・銀賞受賞】
- 10月19日 2008ながさき音楽祭「記念オーケストラ」演奏会 出演(アルカスSASEBOにて)
- 2009年 2月8日 ほたて児童合唱団「第25回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)
 (共演・弓削田健介・馬渡静一部)
  - I部 「HOTATE meets 弓削田健介」
  - II部 合唱ミュージカル「伝説の鳥Z」(詩・藤 公之介 曲・小六禮次郎)
- 7月13日 第64回九州合唱コンクール 長崎県大会 フェスティバルの部 出場(佐世保市民会館にて) 金賞受賞
- 自由曲「マザー・グースの三つの歌」(曲・三善 晃)
- 2010年 2月14日 ほたて児童合唱団「第26回定期演奏会」(コミュニティセンターホールにて)



練習も見に来てね!!

**仲間に入りませんか。—— 新入団員募集**

**いっしょに歌いましょう!!**

詳しくはホームページで……「ほたて児童合唱団」で検索できます。

URL <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~hotate/>

ほたて児童合唱団は、長崎県内の5歳から成人まで幅広い年齢層で活動しています。

練習日 土曜日(13:30〜17:00 春日町・北地区公民館)  
日曜日(9:00〜12:00 潮見町・山澄地区公民館)

お問い合わせ 江田ひとみ (0956) 24-8886